

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ

コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 北條 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 真野 洋介 TEL 048-554-1151

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	66,986	△0.1	4,037	△19.3	4,178	△23.8	1,504	△41.8
26年3月期第1四半期	67,072	8.6	5,002	29.4	5,479	33.1	2,584	△22.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,272百万円 (△86.4%) 26年3月期第1四半期 9,374百万円 (35.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.81	-
26年3月期第1四半期	34.02	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	178,928	107,606	53.2	1,253.36
26年3月期	179,417	103,006	49.8	1,176.28

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 95,213百万円 26年3月期 89,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	14.00	-	14.00	28.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	18.00	-	18.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	133,000	△3.7	7,500	△30.7	8,100	△27.1	3,000	157.3	39.49
通期	271,000	△0.7	19,000	△6.0	20,000	△7.1	10,400	51.6	136.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	76,020,019株	26年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	53,408株	26年3月期	53,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	75,966,624株	26年3月期1Q	75,967,019株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法について）

平成26年7月30日開催予定の決算説明会で使用する決算説明会資料は、TDnetおよび当社ホームページのIR情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日までの3ヶ月間）の売上高につきましては、二輪車用製品の販売は増加したものの四輪車用製品の販売が減少し、669億8千6百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。また、利益につきましては、売上変動構成変化、労務費および研究開発費の増加などにより、営業利益は40億3千7百万円（前年同四半期比19.3%減）、経常利益は41億7千8百万円（前年同四半期比23.8%減）、四半期純利益は15億4百万円（前年同四半期比41.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の算定方法で組み替えた数値を表示しています。

<二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にインドネシアにおける得意先の販売が増加し、全体で増加しました。

この結果、二輪・汎用事業の売上高は、202億6千万円（前年同四半期比3.2%増）となりましたが、営業利益は、20億2千1百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

<四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主に中国における得意先の販売が回復し、全体で増加しました。

この結果、四輪事業の売上高は、242億7千2百万円（前年同四半期比5.2%増）となりましたが、営業利益は、13億2千9百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本における得意先への販売の減少およびタイにおける市場の低迷に伴う販売の減少により、全体で減少しました。

この結果、ステアリング事業の売上高は、189億8千6百万円（前年同四半期比9.9%減）となり、営業利益は、6億5千6百万円（前年同四半期比35.8%減）となりました。

<ガススプリング事業>

ガススプリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本における得意先への販売の減少により、全体で減少しました。

この結果、ガススプリング事業の売上高は、7億2千万円（前年同四半期比1.0%減）となり、営業損失は、1億1千2百万円（前年同四半期は営業損失5千8百万円）となりました。

その他

その他の売上高は、27億4千6百万円（前年同四半期比7.5%増）となり、営業利益は、1億4千2百万円（前年同四半期比20.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,789億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は966億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

<固定資産>

固定資産は823億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6千3百万円減少しました。これは主に有形固定資産の減少によるものです。

<流動負債>

流動負債は583億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億7千5百万円減少しました。これは主に未払金及び未払費用の減少によるものです。

<固定負債>

固定負債は129億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億1千3百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債の減少によるものです。

<純資産>

純資産は1,076億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億9千9百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成26年4月1日から平成27年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、以下のとおり平成26年4月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

<第2四半期連結累計期間>

売上高	1,330億円	前年同四半期比	3.7%減
営業利益	75億円	前年同四半期比	30.7%減
経常利益	81億円	前年同四半期比	27.1%減
四半期純利益	30億円	前年同四半期比	157.3%増

<通期>

売上高	2,710億円	前連結会計年度比	0.7%減
営業利益	190億円	前連結会計年度比	6.0%減
経常利益	200億円	前連結会計年度比	7.1%減
当期純利益	104億円	前連結会計年度比	51.6%増

為替レートは通期平均で、1米ドル=102円、1人民元=16.5円を前提としています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が2,609百万円減少し、利益剰余金が2,721百万円増加しています。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微です。

(4) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結財務諸表の作成にあたり、連結子会社12社及び持分法適用関連会社3社については、12月31日現在の財務諸表または仮決算による財務諸表を使用していましたが、当連結会計年度より、3月31日現在の財務諸表または仮決算による財務諸表を使用する方法に変更しています。これにより、すべての連結子会社及び持分法適用関連会社の財務諸表は、当第1四半期会計期間の四半期連結決算日現在のものを使用しています。この変更に伴う平成26年1月1日から平成26年3月31日の3ヵ月間の損益は、利益剰余金の増減として調整しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,466	20,636
受取手形及び売掛金	32,753	35,345
有価証券	2,000	—
商品及び製品	6,742	7,666
仕掛品	4,174	4,482
原材料及び貯蔵品	18,436	17,142
その他	10,540	11,409
貸倒引当金	△73	△68
流動資産合計	96,039	96,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,369	17,359
機械装置及び運搬具（純額）	27,839	27,421
その他（純額）	19,622	18,595
有形固定資産合計	64,831	63,376
無形固定資産		
のれん	2,556	2,400
その他	262	378
無形固定資産合計	2,819	2,779
投資その他の資産		
投資有価証券	10,548	10,796
その他	5,217	5,400
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	15,727	16,158
固定資産合計	83,377	82,314
資産合計	179,417	178,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,621	28,412
短期借入金	6,470	7,527
未払金及び未払費用	14,656	11,827
未払法人税等	1,357	1,043
製品保証引当金	4,121	3,901
賞与引当金	2,686	1,259
その他	3,253	4,420
流動負債合計	61,168	58,392
固定負債		
長期借入金	1,658	1,227
製品保証引当金	1,027	949
退職給付に係る負債	8,024	5,293
その他	4,532	5,458
固定負債合計	15,242	12,929
負債合計	76,410	71,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	63,399	70,683
自己株式	△54	△54
株主資本合計	89,499	96,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,262	4,352
為替換算調整勘定	△3,690	△5,345
退職給付に係る調整累計額	△713	△576
その他の包括利益累計額合計	△141	△1,569
少数株主持分	13,648	12,392
純資産合計	103,006	107,606
負債純資産合計	179,417	178,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	67,072	66,986
売上原価	55,087	55,203
売上総利益	11,984	11,782
販売費及び一般管理費	6,982	7,744
営業利益	5,002	4,037
営業外収益		
受取利息	146	162
受取配当金	41	41
持分法による投資利益	140	129
為替差益	157	—
その他	108	130
営業外収益合計	593	464
営業外費用		
支払利息	83	61
為替差損	—	222
その他	32	39
営業外費用合計	115	323
経常利益	5,479	4,178
特別利益		
固定資産売却益	54	3
特別利益合計	54	3
特別損失		
固定資産売却損	1	19
固定資産廃棄損	15	54
減損損失	499	82
事業所再編費用	—	119
特別損失合計	516	276
税金等調整前四半期純利益	5,018	3,905
法人税等	1,483	1,554
少数株主損益調整前四半期純利益	3,534	2,350
少数株主利益	949	846
四半期純利益	2,584	1,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,534	2,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	373	89
為替換算調整勘定	5,194	△1,245
退職給付に係る調整額	—	119
持分法適用会社に対する持分相当額	272	△41
その他の包括利益合計	5,840	△1,078
四半期包括利益	9,374	1,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,029	735
少数株主に係る四半期包括利益	2,345	536

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	19,639	23,066	21,083	728	64,518	2,554	67,072	—	67,072
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	19,639	23,066	21,083	728	64,518	2,554	67,072	—	67,072
セグメント利益	2,227	1,692	1,022	△58	4,883	118	5,002	—	5,002

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,260	24,272	18,986	720	64,239	2,746	66,986	—	66,986
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	20,260	24,272	18,986	720	64,239	2,746	66,986	—	66,986
セグメント利益	2,021	1,329	656	△112	3,894	142	4,037	—	4,037

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しました。「セグメント間の内部売上高又は振替高」は、報告セグメント内の内部売上高を含めて計上する方法から、報告セグメント内の内部売上高を除いて計上する方法へ変更し、さらに報告セグメント内の内部売上高の各セグメントに対する配賦方法を変更しています。セグメント利益は、従来、のれん償却額を除き連結調整前の金額で計上していましたが、連結調整後で計上する方法へ変更しました。

これらは、経営管理の手法の変更に伴い、セグメント別損益の実態をより正確に表示するためです。

この変更に伴い、前年同四半期のセグメント売上高及びセグメント利益についても変更後の算定方法にて組み替えて表示しています。



平成 26 年 7 月 29 日

平成 27 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間

参考資料

(単位:百万円未満切捨て)

		平成26年3月期	平成27年3月期	差異	平成26年3月期	平成27年3月期	差異	
		第1四半期累計実績	第1四半期累計実績		通期実績	通期今回予想		
売上高		67,072	66,986	△ 86	272,794	271,000	△ 1,794	
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	18,963	19,538	574	75,242	77,990	2,747
		ボート用製品	676	722	45	2,991	2,740	△ 251
		計	19,639	20,260	620	78,234	80,730	2,495
	四輪事業	ショックアブソーバ	17,064	18,489	1,425	73,095	74,620	1,524
		駆動系	6,002	5,783	△ 219	24,693	25,370	676
		計	23,066	24,272	1,205	97,789	99,990	2,200
	ステアリング事業	21,083	18,986	△ 2,096	80,726	75,040	△ 5,686	
	ガスピリング事業	728	720	△ 7	2,999	2,900	△ 99	
	その他	2,554	2,746	191	13,045	12,340	△ 705	
	営業利益		5,002	4,037	△ 964	20,207	19,000	△ 1,207
事業別	二輪・汎用事業	2,227	2,021	△ 205				
	四輪事業	1,692	1,329	△ 362				
	ステアリング事業	1,022	656	△ 366				
	ガスピリング事業	△ 58	△ 112	△ 53				
	その他	118	142	23				
経常利益		5,479	4,178	△ 1,301	21,521	20,000	△ 1,521	
純利益		2,584	1,504	△ 1,079	6,860	10,400	3,539	
1株当たり純利益		34円02銭	19円81銭	△ 14円21銭	90円32銭	136円90銭	46円58銭	
営業利益増減要因			△ 964		7,451	△ 1,207	△ 8,658	
売上変動構成変化等			△ 531		5,049	1,320	△ 3,729	
労務費			△ 384		△ 1,461	△ 1,660	△ 198	
原材料価格変動			△ 141		△ 77	120	197	
研究開発費			△ 273		△ 1,454	△ 2,070	△ 615	
原価低減効果等			202		1,978	2,240	261	
減価償却費			23		328	△ 610	△ 938	
為替影響			139		3,087	△ 547	△ 3,634	
設備投資		2,243	2,268	24	12,896	16,540	3,643	
減価償却費		2,231	2,117	△ 114	9,025	9,320	294	
総資産		168,926	178,928	10,001	179,417			
純資産		99,598	107,606	8,008	103,006			

個別業績

	平成27年3月期	平成27年3月期	差異	平成26年3月期
	通期前回(4/24)予想	通期今回予想		通期実績
売上高	103,000	103,000		111,123
営業利益	3,200	3,200		3,341
経常利益	6,900	6,900		10,862
純利益	5,700	5,700		5,257

※1.営業利益増減要因の各増減金額は、前年同期為替レートで換算しており、当期為替レートとの換算差は、「為替影響」に含めています。

2.当第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しています。
 なお、前年同四半期及び前期の数値については、変更後の算定方法で組み替えた数値を表示しています。